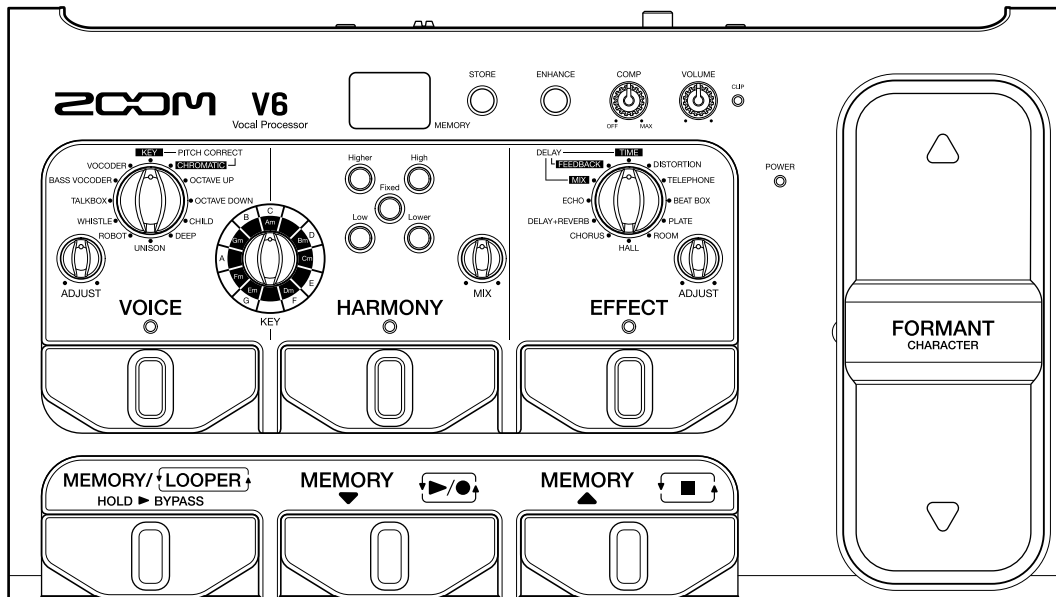


V6

Vocal Processor



オペレーションマニュアル

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください

© 2019 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。
 文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。文中のすべての商標および登録商標は、
 それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。
 白黒端末では正しく表示できません。

■ オペレーションマニュアルについて

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

© Windows®は、Microsoft®社の商標または登録商標です。

© Mac、macOS は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

© iOS は、米国をはじめとする国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用しています。

©文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

はじめに

このたびは、ZOOM ボーカルプロセッサー **V6** をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

V6 は声を変化させる機能を多数搭載しており、簡単な操作で誰でも存在感のあるボーカルサウンドが得られます。

音量と明瞭感を調節した後、ケロケロボイスにしたりハモリや残響などを加えることができます。

設定値や組み合わせは、パッチメモリーとして本体に保存し、いつでも使うことができます。

あらかじめ搭載されているパッチメモリーを切り替えるだけでも様々な音色変化を楽しむことができます。

加えて声の特徴を変えられるユニークなフォルマントペダルや最大3分30秒まで多重録音できるルーパー、超指向性マイク ZOOM SGV-6 などライブパフォーマンスに最適なボーカルプロセッサーです。

末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

V6 の主な特長

簡単操作で音作り

つまみを回してスイッチを押すだけで簡単に音作りが楽しめます。

超指向性ボーカルマイク ZOOM SGV-6

ショットガンマイク技術をベースにした超指向性マイク ZOOM SGV-6 は、鋭い指向性でボーカリストを捉えます。SGV-6 を使用するとハウリングや周りの楽器音のかぶりを抑えて音声を収音できるので、より正確なピッチ補正やハーモニーが得られます。

声の特徴をペダルで操作

フォルマントペダルは、音程を変えずに声の特徴を変化させ別人の様な声にすることができます。ペダルから足を離すと自動的に元の声に戻ります。

歌いやすさをアシスト

コンプレッサーで音量を整えエンハンスで明瞭感を加えることで歌いやすさをアシストします。

ボイス、ハーモニー、エフェクト

ボイス機能は、音程が階段状に変化するケロケロボイス（ピッチコレクト）やロボットボイスも簡単に再現。

ハーモニー機能を使うと曲調（KEY）の設定に合わせて3度や5度のハモリも自動で生成。

ボーカリスト用に最適化したエフェクト機能は、エコーやリバーブの他、攻撃的なディストーションなど10種類を搭載しています。

即興パフォーマンスには3分30秒のルーパーが活躍

ルーパーを使用すると加工した歌声を何度でも重ねられるのでパフォーマンスの幅が大きく広がります。

便利なアンドゥ／リドゥもフットスイッチを使って簡単に操作できます。

USB オーディオインターフェイス

2IN/2OUT のオーディオインターフェイスとして利用可能です。

用語について

パッチメモリー

ボイス、ハーモニー、エフェクトの設定値を記録したものを“パッチメモリー”と呼び、簡単に呼び出すことができます。パッチメモリーは 100 個まで保存できます。

ルーパー

声を録音して最大 3 分 30 秒のフレーズを録音し、繰り返し再生することができます。フレーズを重ねることで、アカペラのコーラスやボイス・パーカッションなど多彩なライブパフォーマンスに対応します。

メモリーモード

フットスイッチでパッチメモリーを選択するモードです。

ルーパーモード

フットスイッチでルーパーを操作するモードです。

ボイス

キーに合わせてピッチの補正をしたり、子供のような声やシンセサウンド、ボコーダーを使用した声など、声を加工します。

ハーモニー

ハーモニーを 2 声まで加えることができます。キーに合わせて自動的に最適なハーモニーを生成します。

エフェクト

原音に残響や歪みなどを加えて音色を変化させます。

フォルマント

フォルマントとは、口や喉の形の違いによって生じる声のキャラクターです。

V6では、フォルマントペダルを操作して音程を変えずに声のキャラクターを変化させることができます。

コンプレッサー

一定のレベルを超えた入力音を圧縮して音を小さくし、全体の音量をそろえることができます。

エンハンス

歌の高音域を強調することによって歌の輪郭をはっきりさせ、サ行の音などの歯擦音を抑えて聞きやすい声にすることができます。

ECO モード

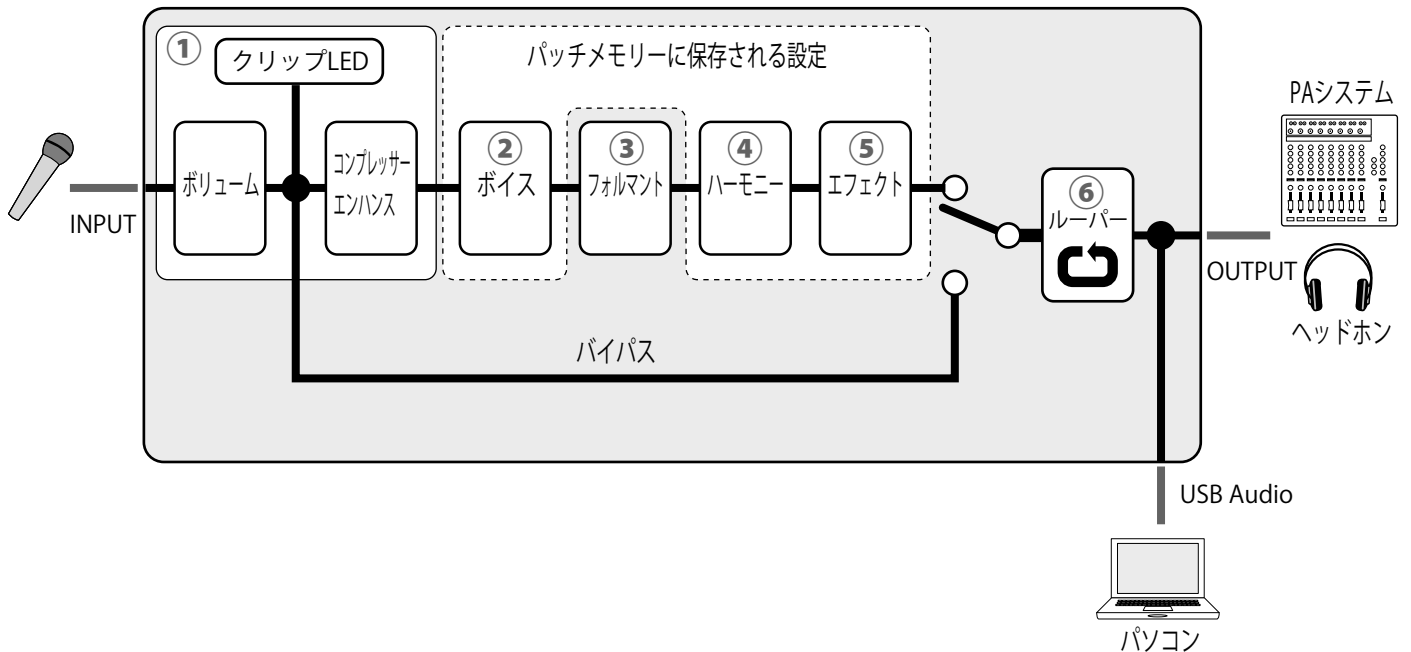
操作をやめてから 10 時間経過したときに電源を自動的にオフする機能です。

目次

はじめに	3	本体の設定をする	29
用語について	4	声やハーモニーの基準ピッチを設定する	29
目次	5	電池の種類を設定する	30
V6の構成	6	操作をしないときに自動で電源を切る (ECOモード)	31
各部の役割と名称	7	工場出荷時の設定に戻す	32
接続する	10	オーディオインターフェース機能を使う	33
ZOOM SGV-6について	11	ドライバをインストールする	33
電源を入れる	12	パソコンに接続する	34
電池を使用する場合	13	ファームウェアをアップデートする	35
音量と音質を調節する	14	故障かな?と思う前に	36
マイクからの入力音量を調節する	14	仕様	38
音量のばらつきを抑える (コンプレッサー機能)	14		
声の輪郭をはっきりさせる (エンハンス機能)	15		
ヘッドフォンの音量を調節する	15		
パッチメモリーを選択する	16		
ボイスを使用する	17		
ハーモニーを使用する	19		
エフェクトを使用する	21		
パッチメモリーに設定を保存する	23		
フォルマントペダルを使用する	24		
フォルマントペダルの踏み具合を調節する	24		
ルーパーを使用する	25		
ルーパーに切り替える	25		
フレーズを録音/再生する	25		
フレーズのオーバーダビング	26		
フレーズを消去する	27		
ディスプレイ表示一覧	27		
V6の効果をバイパスする	28		

V6の構成

■ 信号の流れ



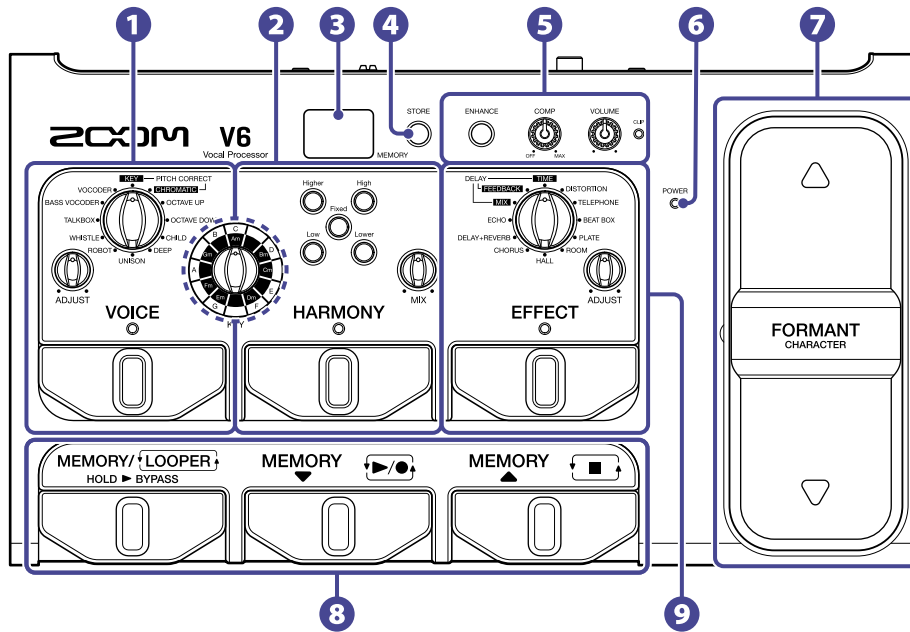
- ① マイクから入力する音量や音質を調節します。
(→ [14 ページ「音量と音質を調節する」](#))
- ② ピッチ補正、ピッチシフト、ボコーダーなど、声を加工します。
(→ [17 ページ「ボイスを使用する」](#))
- ③ フォルマントペダルを使って、音程を変えずに声のキャラクターを変化させます。
(→ [24 ページ「フォルマントペダルを使用する」](#))
- ④ ハーモニーを2声まで加えることができます。
(→ [19 ページ「ハーモニーを使用する」](#))
- ⑤ ディレイやリバーブなどのエフェクトを加えます。
(→ [21 ページ「エフェクトを使用する」](#))
- ⑥ 録音したフレーズをループ再生することができます。
(→ [25 ページ「ルーパーを使用する」](#))

HINT

②ボイス、④ハーモニー、⑤エフェクトの設定は、パッチメモリーに保存することができ、簡単に呼び出すことができます。(→ [16 ページ「パッチメモリーを選択する」](#)、[23 ページ「パッチメモリーに設定を保存する」](#))

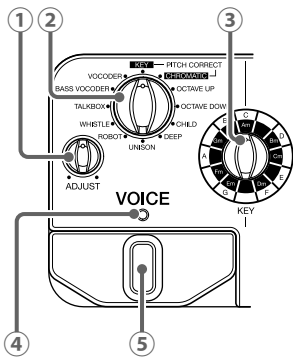
各部の役割と名称

■ フロントパネル



① ボイス操作部

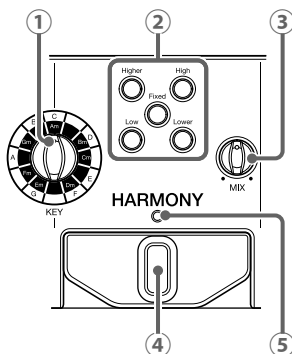
ピッチ補正、ピッチシフト、ボコーダーなど、声を加工します。



- ①ボイスアジャストノブ
ボイスを調節します。
- ②ボイスセレクトノブ
ボイスを選択します。
- ③キーセレクトノブ
ピッチ補正に使用するキーを選択します。
- ④ボイスインジケータ
ボイスのオン/オフを表示します。
- ⑤ボイスフットスイッチ
ボイスをオン/オフします。

② ハーモニー操作部

ハーモニーを2声まで加えることができます。



- ①キーセレクトノブ
ハーモニーに使用するキーを選択します。
- ②ハーモニースタイルボタン
ハーモニーを選択します。
- ③ハーモニーミックスノブ
ハーモニーの音量を調節します。
- ④ハーモニーフットスイッチ
ハーモニーをオン/オフします。
- ⑤ハーモニーインジケータ
ハーモニーのオン/オフを表示します。

3 ディスプレイ

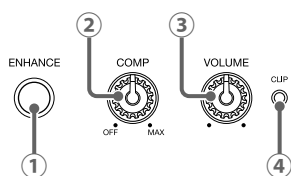
選択中のパッチメモリー番号やルーパーの状態などを表示します。

4 ストアボタン

現在の設定をパッチメモリーに保存します。

5 入力操作部

マイクから入力する音量や音質を調節します。



①エンハンスボタン

エンハンス機能をオン/オフします。

②コンプレッサーノブ

コンプレッサーの効き具合を調節します。

③ボリュームノブ

マイクの入力音量を調節します。

④クリップインジケーター

入力音の状態を表示します。

6 パワーインジケーター

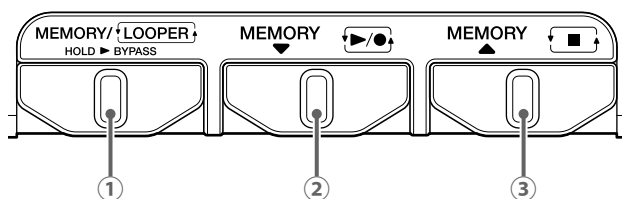
電源のオン/オフ、電池残量を表示します。

7 フォルマントペダル

声のキャラクターを変化させます。

8 パッチメモリー／ルーパー操作部

パッチメモリーの選択やルーパーの操作に使用します。



①メモリー／ルーパーフットスイッチ

メモリーモードとルーパーモードを切り替えます。
長押しすると **V6** の効果をバイパスします。

②メモリー▼フットスイッチ

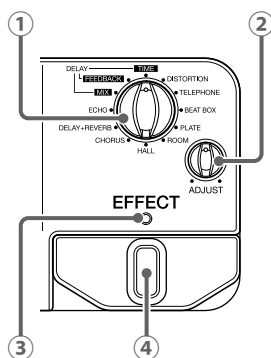
パッチメモリーを選択します。
ルーパーモード時はフレーズを録音/再生します。

③メモリー▲フットスイッチ

パッチメモリーを選択します。
ルーパーモード時はフレーズを停止します。

9 エフェクト操作部

ディレイやリバーブなどのエフェクトを加えます。



①エフェクトセレクトノブ

エフェクトを選択します。

②エフェクトアジャストノブ

エフェクトを調節します。

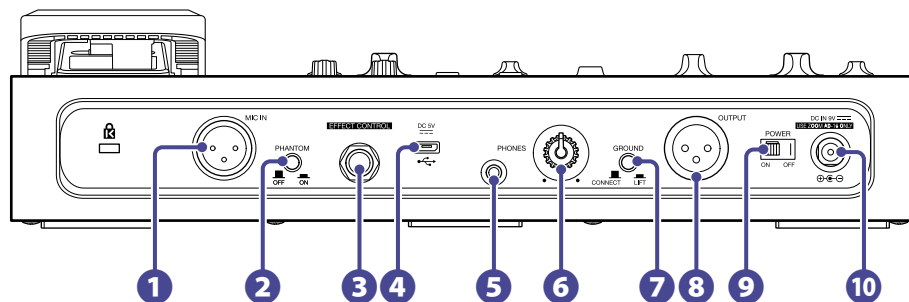
③エフェクトインジケーター

エフェクトのオン/オフを表示します。

④エフェクトフットスイッチ

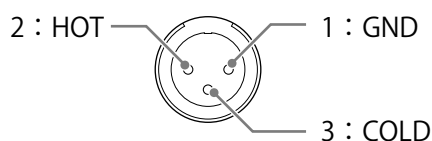
エフェクトをオン/オフします。

■ リアパネル



① 入力端子

マイクを接続します。



② PHANTOM スイッチ

+48V のファンタム電源の供給をオン／オフします。

マイク (ZOOM SGV-6) やファンタム電源が必要なコンデンサーマイクなどを使用する場合は、オンに設定します。

③ エフェクトコントロール端子

エクスプレッションペダル (ZOOM FP02M) を接続して、エフェクトの調節をします。

④ USB 端子

パソコンを接続します。V6 をオーディオインターフェースとして使用したり、V6 のファームウェアをアップデートできます。

モバイルバッテリーなどを接続して電力供給もできます。

⑤ PHONES OUT 端子

ヘッドフォンを接続します。

⑥ PHONES OUT ボリュームノブ

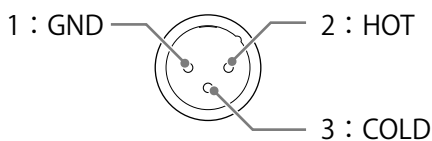
ヘッドフォンの音量を調節します。

⑦ GROUND LIFT スイッチ

出力端子のグラウンドへの接続／解除を切り替えます。

⑧ 出力端子

ミキサーなどの PA システムやレコーダーなど、音のバランスを調整する音響機器と接続します。



⑨ 電源スイッチ

電源をオン／オフします。

⑩ DC9V AC アダプター端子

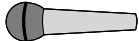
専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) を接続します。

接続する

マイク (ZOOM SGV-6
または市販のマイク)

マイクケーブルで入力
端子に接続します。

または

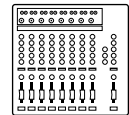


PHANTOM
OFF ON
マイク (ZOOM SGV-6)
やコンデンサーマイクな
どファンタム電源が必要
な機器を接続した場合は、
ファンタムスイッチを
ON の位置にします。

ステレオミニプラグ
ヘッドフォン

ミキサーなどの PA システム、
レコーダーなど

または



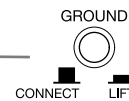
エクスプレッションペダル
(ZOOM FP02M)

エフェクトコントロール端子
に接続します。ペダルでエ
フェクトの調節ができます。

microUSB ケーブルで
USB 端子に接続します。

パソコン

AC アダプター
(ZOOM AD-16)



出力端子のグランドへの接続／解除を
切り替えます。

- CONNECT: グランドピンがグランド
に接続します。
- LIFT: グランドピンがグランドから切
り離されます。グランドループによ
るノイズが発生した場合に有効です。

NOTE

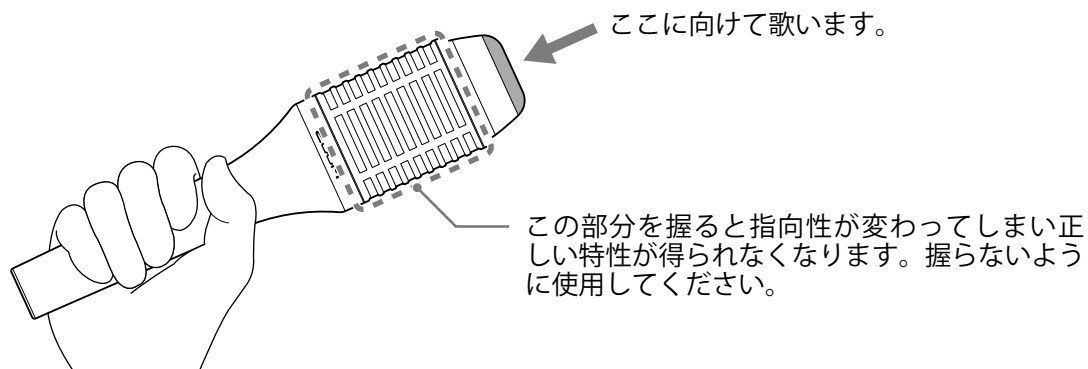
ファンタム電源に対応していない機器に接続する場合は、ファンタムスイッチを必ず OFF の位置にしてください。機器が破損することがあります。

ZOOM SGV-6 について

SGV-6はショットガンマイク（向けた方向の音を拾うことに特化したマイク）の技術をベースにした鋭い指向性を持ったマイクです。

ボーカルのみをとらえることによって、ステージ上で他楽器のかぶりによる誤検出をおさえ、正確なピッチ補正、ハーモニーを得ることができます。

■ SGV-6 の使いかた




NOTE

SGV-6は精密機器です。落としたり、強い衝撃を与えないように使用してください。

電源を入れる

1. 出力機器の音量を最小にする

2.  を "ON" にする

V6の電源が入り、 が緑色に点灯します。

3. 出力機器の音量を上げる

HINT

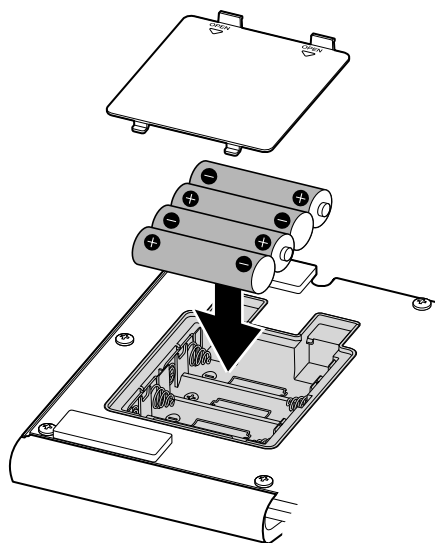
- 単三電池 4 本でも使用することができます。アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池のいずれかを使用してください。(→ [13 ページ「電池を使用する場合」](#))
- USB 端子からの電源供給でも動作します。

ECO モードについて

- 初期設定では ECO モードが "ON" に設定されており、操作が行われなまま 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。
- ECO モードは、設定画面で "OFF" にすることもできます。(→ [31 ページ「操作をしないときに自動で電源を切る \(ECO モード\)」](#))


電池を使用する場合

製品底面の電池ボックスの蓋を開け、単三電池を4本入れてください。






NOTE

• 電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく設定してください。(→ [30 ページ「電池の種類を設定する」](#))

POWER  が赤色に点灯した場合は、電池の残量が少なくなっています。新しい電池と交換してください。

音量と音質を調節する

マイクからの入力音量を調節する

1.  を回す
歌いながら  が緑色に点灯するように調節します。
小さく  大きく

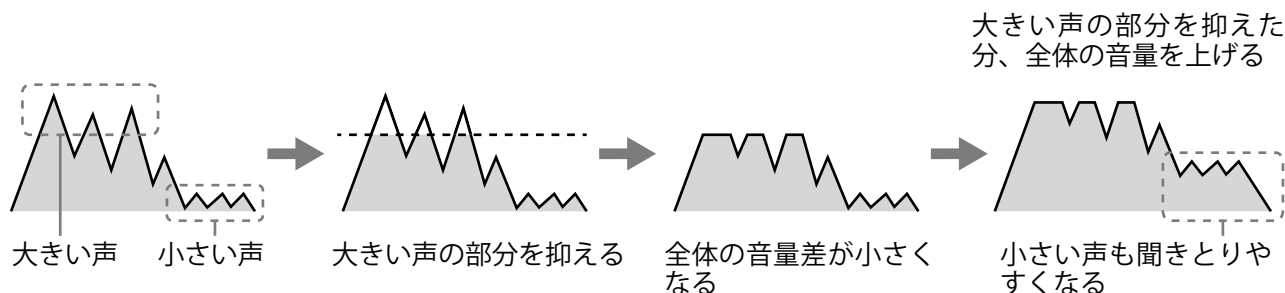
NOTE


ボイスやハーモニーを正しく動作させるためには、マイクからの入力音量が適切になるように調整してください。

-  CLIP : 音量が大きい
-  CLIP : 音量が適切
-  CLIP : 音量が小さい

音量のばらつきを抑える（コンプレッサー機能）

一定のレベルを超えた入力音を圧縮して音を小さくし、全体の音量をそろえることができます。例えば、1曲の中でシャウトなどの大きな声やささやくような小さな声で歌う場合、大きな声に音量を合わせると小さな声が聞こえなくなってしまう。大きな声の音量を抑えることで全体の音量差を少なくし、小さな声も聞こえやすくすることができます。



1.  を回す
右に回すと効果が強くなります。
左に回しきるとコンプレッサー機能がオフになります。

声の輪郭をはっきりさせる（エンハンス機能）

V6のエンハンス機能には、2つの効果があります。


- 声の輪郭をはっきりさせる

歌の高音域を強調することによって歌の輪郭をはっきりさせ、バンドの音にうもれないようにします。

- サ行の音などの歯擦音を抑える

歯擦音とは、サ行などを歌うときの歯の隙間から漏れる音です。マイクの音量を上げたときに気になる歯擦音を抑えることによって、聞きやすい声にすることができます。

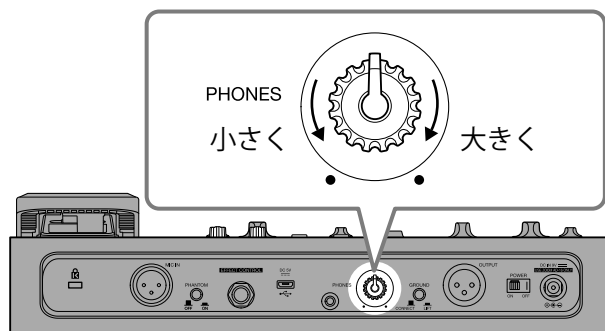
1.  を押す

 が点灯し、エンハンス機能がオンになります。

ヘッドフォンの音量を調節する



V6をヘッドフォンで再生する場合は、PHONES OUT ボリュームノブで音量を調節します。

1.  を回す



パッチメモリーを選択する

V6 は、多彩なボーカルサウンドをすぐに体験できるパッチメモリーをあらかじめ用意しています。パッチメモリーには、ボイス、ハーモニー、エフェクトの各設定が保存されています。パッチメモリーは、100 個保存することができます。

1.  または  を押す

パッチメモリーを選択します。

選択したパッチメモリー番号がディスプレイに表示されます。

HINT


・**V6** の電源を入れると、前回最後に使用したパッチメモリーの設定で起動し、ディスプレイにパッチメモリー番号が表示されます。

・ボイス、ハーモニー、エフェクトを調節すると、 が点灯して保存されている設定から変わったことを示します。必要に応じて保存してください。(→ [23 ページ「パッチメモリーに設定を保存する」](#))

V6のモードについて

V6 にはメモリーモードとルーパーモードの2つのモードがあります。

- ・メモリーモード：パッチメモリーを選択することができます。
- ・ルーパーモード：ルーパーを使用することができます。

モードは  を押すたびに切り替わります。

電源を入れると、**V6** はメモリーモードで起動します。

ボイスを使用する

キーに合わせてピッチの補正をしたり、子供のような声やシンセサウンド、ボコーダーを使用した声など、声を加工します。

1. を押す

VOICE が点灯し、ボイスがオンになります。

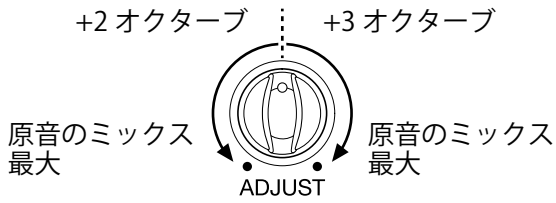
2. を回す

ボイスを選択します。

3. を回す

ボイスを調節します。

ボイス	説明	アジャスト
PITCH CORRECT - KEY**	設定したキー * に合わせてピッチを補正します。 軽い音程補正から音程を階段状に変化させる機械的な効果まで調整可能です。	ピッチの補正量
PITCH CORRECT - CHROMATIC**	半音ごとにピッチを補正します。 軽い音程補正から音程を階段状に変化させる機械的な効果まで調整可能です。曲のキーが分からない場合や転調の多い曲におすすめです。	ピッチの補正量
OCTAVE UP	1 オクターブ上の声を加えます。 ハーモニーと併用することによって3声の分厚い和声を作ることが可能です。	原音とエフェクト音のバランス
OCTAVE DOWN	1 オクターブ下の声を加えます。 ハーモニーと併用することによって3声の分厚い和声を作ることが可能です。	原音とエフェクト音のバランス
CHILD**	声の高さとキャラクターを大きく変化させ、子供のような高い声に加工します。 また、設定したキー * に合わせてピッチを補正します。	ピッチの補正量
DEEP**	声の高さとキャラクターを大きく変化させ、深みのある太く低い声に加工します。 また、設定したキー * に合わせてピッチを補正します。	ピッチの補正量
UNISON	ピッチやタイミングを微妙にずらした音をミックスすることで、2回歌って重ねたような効果を得ることができます。	エフェクト音のミックス量

ROBOT**	<p>ロボットボイスに加工し、設定したキー*のルート音を出力します。 イントロや間奏で使うことで、楽曲の演出を効果的にします。</p>	ロボットボイスのオクターブ
WHISTLE	<p>歌うだけで口笛を吹いたかのような効果が得られます。 アジャストノブの左半分と右半分で口笛のオクターブが変わります。歌う音の高さに合わせてオクターブを設定し、原音の大きさを調節してください。</p> <p>+2 オクターブ +3 オクターブ</p> 	原音のミックス量／口笛のオクターブ
TALKBOX**	<p>トーク・ボックスサウンドの効果が得られます。 設定したキー*に合わせてピッチを補正します。 TALKBOXのピッチ補正はメジャースケールに♭3を加えた、またはナチュラルマイナースケールに♭5を加えたブルーノートスケールに従います。</p>	ピッチの補正量
BASS VOCODER**	<p>1オクターブ下のボコーダーサウンド効果が得られます。 設定したキー*に合わせてピッチを補正します。ピッチ補正量を大きくすることで、より鍵盤に近いジャストピッチのサウンドが得られます。</p>	ピッチの補正量
VOCODER**	<p>ボコーダーサウンド効果が得られます。 設定したキー*に合わせてピッチを補正します。ピッチ補正量を大きくすることで、より鍵盤に近いジャストピッチのサウンドが得られます。ハーモニーと併用し和音にすると、より効果的です。</p>	ピッチの補正量

* キーの設定について詳しくは、[19ページ「ハーモニーを使用する」](#)の手順2をご覧ください。

** 基準ピッチの設定 ([29ページ「声やハーモニーの基準ピッチを設定する」](#)) が反映されます。

ハーモニーを使用する

ハーモニーは5種類から2つを選択でき、曲調（キー）の設定に合わせて自動でハーモニーを生成します。

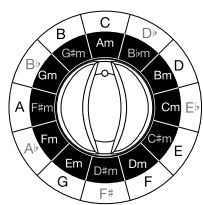
1. を押す

HARMONY が点灯し、ハーモニーがオンになります。

2. を回す

歌う曲のキーを選択します。

キーは楽譜の調号で判断することもできます。



メジャーキー C F B^b E^b A^b D^b

マイナーキー Am Dm Gm Cm Fm B^bm

メジャーキー C G D A E B F[#]

マイナーキー Am Em Bm F[#]m C[#]m G[#]m D[#]m

キーとは？

曲を構成する7つの音階で、明るい音階はメジャーキー、暗い音階はマイナーキーと呼びます。キーが始まる音階（A～G）がキーの名前となります。例えば「ド」から始まる明るい7音階（ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ）はCメジャーキー、「ラ」から始まる暗い7音階（ラ、シ、ド、レ、ミ、ファ、ソ）はAマイナーキー（Am）と呼びます。

C
メジャー

ドレミファソラシ


ドレミファソラシ

A
マイナー

ラシドレミファソ

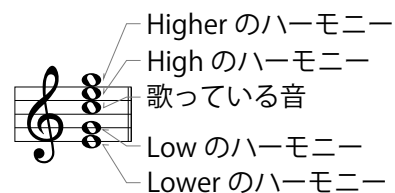
ラシドレミファソ

3. 、、、 または を押す

 が点灯し、選択したハーモニーを加えます。押すたびに大→中→小→オフの順番で、音量と明るさが変わります。

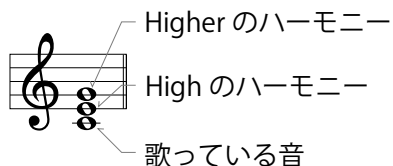
ハーモニーは2つまで選択することができます。3つめを選択すると、最初に選択したハーモニーをキャンセルします。

ハーモニー	説明
Higher	+ 6度または+ 5度
High	+ 4度または+ 3度
Fixed	手順2で選択したキーのルート音（固定）
Low	- 4度または- 3度
Lower	- 6度または- 5度

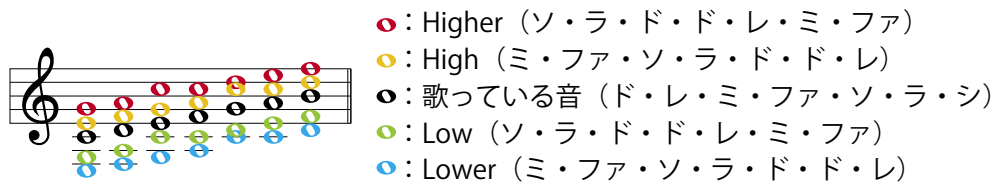


手順2で選択したキーに合わせて、自動的にハーモニーを生成します。

例1：CのメジャーキーでCの音を歌っているときに、HigherとHighを選択した場合



例2：Cのメジャーキーで、ドレミファソラシを歌った場合



ハーモニーで付加される音程について

「度」とは、基準になる音階から数えて何音めかを示します。

-8 -7 -6 -5 -4 -3 -2 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8

ドレミファソラシ(ド)レミファソラシド

基準となる音階

例えば「Higher」を選択した場合、歌の音程に合わせて +5 度または +6 度を自動的に選択してハーモニーを生成します。

4. を回す


原音とハーモニー全体のバランスを調節します。

右に回しきると、ハーモニー音だけが出力されます。

エフェクトを使用する

原音に残響や歪みなどを加えて音色を変化させます。

1. を押す

 が点灯し、エフェクトがオンになります。

2. を回す

EFFECT

エフェクトを選択します。

3. を回す

ADJUST

エフェクトを調節します。

エフェクト	説明	アジャスト
DISTORTION	声を強く歪ませるディストーション	歪みの量
TELEPHONE	レトロな質感を演出するテレフォンボイス	効果のかかる周波数帯域
BEAT BOX	ヒューマン・ビートボックスに適した迫力ある音質に補正します。 キック、スネアの迫力を増し、ハイハットのキレを強調します。また適度なコンプレッションにより、ばらつきがちなキック、スネア、ハイハットの音量をそろえます。	ブースト量
PLATE*	プレートリバーブのシミュレーション	残響の長さとのミックス量
ROOM*	部屋の残響をシミュレートしたタイトなリバーブ	残響の長さとのミックス量
HALL*	ホールの残響をシミュレートした高密度のリバーブ	残響の長さとのミックス量
CHORUS	厚みのある柔らかいコーラス	エフェクト音のミックス量
DELAY+REVERB*	ディレイとリバーブを組み合わせたエフェクト	残響の長さとのミックス量
ECHO	輪郭を強調する歯切れのよいショート・ディレイ	エフェクト音のミックス量
DELAY**	パラメータを細かく設定できるクリアな音質のディレイ	TIME
		FEEDBACK
		MIX

* ステレオで効果を加えます（PHONES OUT 端子からステレオ出力することができます）。

** DELAY エフェクトは DELAY - TIME、DELAY - FEEDBACK または DELAY - MIX で効果の調節をします。

エフェクトについて

テレフォンボイス：高域と低域をカットし、歪ませることで、ローファイサウンドにします。

リバーブ：残響音を加えることで、広がりや奥行きを与えます。

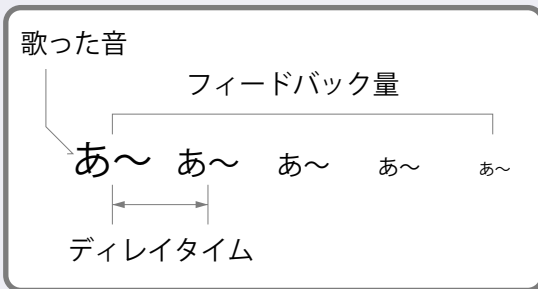
コーラス：わずかに揺らいだ音を加えることで、厚みと質感の変化を与えます。

ディレイ：一定間隔で音を反復させることで、リズムに合わせた効果を作ることができます。




ディレイの調節について

ディレイタイム：ディレイ音の遅れの時間を調節します。最大2秒まで設定することができます。

フィードバック量：ディレイ音を繰り返す回数を調節します。



HINT


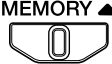
- DELAY - TIME を選択しているときは、 がディレイタイムのタップテンポ設定用のスイッチとして動作します。 を押した間隔でディレイタイムが設定されます。
- エクスプレッションペダル（ZOOM FP02M）を接続すると、ペダルを操作することでエフェクトを調節することができます（ を回すのと同じ効果です）。ペダル操作での調節内容はパッチメモリーには保存されません。

パッチメモリーに設定を保存する

ボイス、ハーモニー、エフェクトの設定をパッチメモリーに保存します。

1.  を押す

ディスプレイの表示が点滅します。

2.  または  を押す


保存先のパッチメモリーを選択します。

選択したパッチメモリー番号がディスプレイに表示されます。

3.  を押す

現在の設定が保存されます。

HINT

保存をキャンセルするには、 を押します。

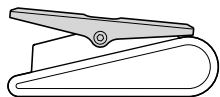
フォルマントペダルを使用する

フォルマントとは、口や喉の形の違いによって生じる声のキャラクターです。

フォルマントペダルを使ってフォルマントを変化させることによって、音程を変えずに声のキャラクターを変化させることができます。

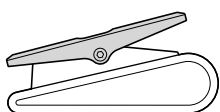
1. フォルマントペダルを操作する

声のキャラクターが変化します。



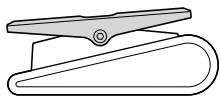
つま先側を踏む

高くてかわいい声に変化します。



かかと側を踏む

低くて太い声に変化します。



通常の状態

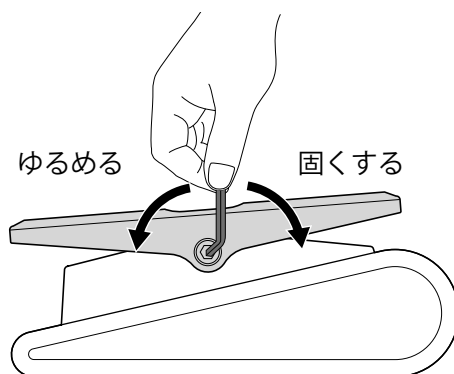
足を離すと自動的に通常の状態に戻ります。

フォルマントペダルの踏み具合を調節する

フォルマントペダルのトルクを調節して、踏み具合をお好みに調節することができます。

1. ペダル側面のトルク調節用ネジに5mmサイズの六角レンチを挿し込む

2. ペダルを固くしたいときは時計回り、ゆるめたいときは反時計回りに回す



NOTE


トルク調節用ネジをゆるめすぎると、内部でネジが外れペダルが固定できなくなる恐れがありますので、十分に注意してください。


ルーパーを使用する

声を録音して最大3分30秒のループフレーズを作ります。

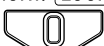
フレーズを重ねることで、アカペラのコーラスやボイス・パーカッションなど多彩なライブパフォーマンスに対応します。

ルーパーに切り替える

1. メモリーモード時に、を押す


ディスプレイに  が表示されます。

HINT



 を押すと、メモリーモードに戻ります。


フレーズを録音／再生する


1.  を押す

フレーズの録音が始まり、ディスプレイに  が表示されます。

HINT


 を押すと、録音をキャンセルすることができます（ディスプレイに  が表示されます）。

2.  をもう一度押す

録音を停止してループ再生が始まり、ディスプレイに  が表示されます。


最大録音時間を経過すると自動的に録音を停止してループ再生を開始します。


3.  を押す

ループ再生を停止し、ディスプレイに  が表示され点滅します。


フレーズのオーバーダビング

録音したフレーズに、別の演奏を重ねて録音します。


1. フレーズの再生中に、を押す

オーバーダビングが開始され、ディスプレイに が表示されます。

フレーズを最後まで再生した後は、フレーズの先頭に戻ってループ再生し、オーバーダビングを繰り返します。



2. オーバーダビング中に、を押す

オーバーダビングが終了し、フレーズの再生に戻ります。


ディスプレイに が表示されます。



■ 最後に重ねて録音したフレーズを取り消す

1. フレーズを再生中に をすばやく2回押す

ディスプレイに が表示され点滅した後、が表示されます。


■ 取り消したフレーズを復活させる

1. フレーズを取り消した後に、もう一度 をすばやく2回押す






ディスプレイに が表示され点滅した後、が表示されます。

フレーズを消去する

1. フレーズを停止中に  を長押しする

録音したフレーズが消去され、ディスプレイに  が表示されます。

ディスプレイ表示一覧

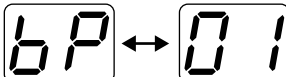
表示	説明
	LOOPER：フレーズ未録音
	REC：フレーズを録音中
	PLAY：フレーズを再生中（停止中はディスプレイが点滅します。）
	UNDO：最後に重ねて録音したフレーズの取り消し
	REDO：UNDO で取り消したフレーズの復活

V6の効果をバイパスする

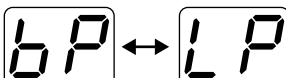
1. HOLD ▶ BYPASS
 を長押しする

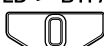
V6の効果がバイパスされ、ディスプレイに以下のように表示されます。

メモリーモード時

 : パッチメモリー番号と "bP" が交互に表示されます。

ルーパーモード時



 : ルーパーの状態と "bP" が交互に表示されます。


バイパスを終了するには、HOLD ▶ BYPASS
 を押します。



本体の設定をする

声やハーモニーの基準ピッチを設定する


声のピッチ補正をするときや、付加されるハーモニーの基準ピッチを調整します。

1.  を押しながら  を "ON" にする


ディスプレイに  が表示された後、現在の設定値が表示されます。

2.  または  を押す

基準ピッチを選択します (1Hz 単位、初期値は 440Hz)。

 : 435Hz

↑

 : 445Hz

基準ピッチとは？


演奏の基準にする「A」(ラ) の音の高さで、単位は Hz (ヘルツ) で表示されます。

V6 の基準ピッチを演奏する楽器の基準ピッチと合わせることで、声やハーモニーのピッチを合わせることができます。

3.  を押す



ディスプレイが高速点滅し、設定が保存され、**V6** が通常起動します。


HINT

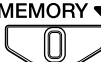

設定をキャンセルするには  を押します。

電池の種類を設定する




電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく選択します。

1.  を押しながら  を "ON" にする

ディスプレイに  が表示された後、現在の設定値が表示されます。

2.  または  を押す

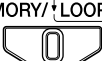
電池の種類を選択します。

-  : アルカリ電池
-  : ニッケル水素電池
-  : リチウム電池

3.  を押す



ディスプレイが高速点滅し、設定が保存され、**V6** が通常起動します。


HINT



設定をキャンセルするには  を押します。

操作をしないときに自動で電源を切る（ECO モード）



操作をやめてから 10 時間経過すると自動的に電源が切れるように設定します。

1.  を押しながら  を "ON" にする

ディスプレイに  が表示された後、現在の設定値が表示されます。

2.  または  を押す


設定値を選択します。

-  : 操作をやめてから 10 時間経過すると自動的に電源が切れます。
-  : ECO モードを無効にします。



3.  を押す


ディスプレイが高速点滅し、設定が保存され、**V6** が通常起動します。

HINT

設定をキャンセルするには  を押します。

工場出荷時の設定に戻す

1.  を押しながら  を "ON" にする

ディスプレイに  が表示され点滅します。


2.  を押す

ディスプレイが高速点滅し、初期化が実行され工場出荷時の設定に書き換え、**V6** が通常起動します。

NOTE

初期化を実行すると、パッチメモリーを含むすべての設定が工場出荷時の設定に書き換えられます。この操作は慎重に行ってください。

HINT

設定をキャンセルするには  を押します。

オーディオインターフェース機能を使う

ドライバをインストールする

■ Windows

1. www.zoom.co.jp からパソコンに「ZOOM V6 Driver」をダウンロードする

NOTE

- 最新の「ZOOM V6 Driver」は上記 WEB サイトからダウンロードできます。
- ご使用の OS 環境に対応するドライバをダウンロードしてください。

2. インストーラーを起動して、ドライバをインストールする指示に従って「ZOOM V6 Driver」をインストールします

NOTE

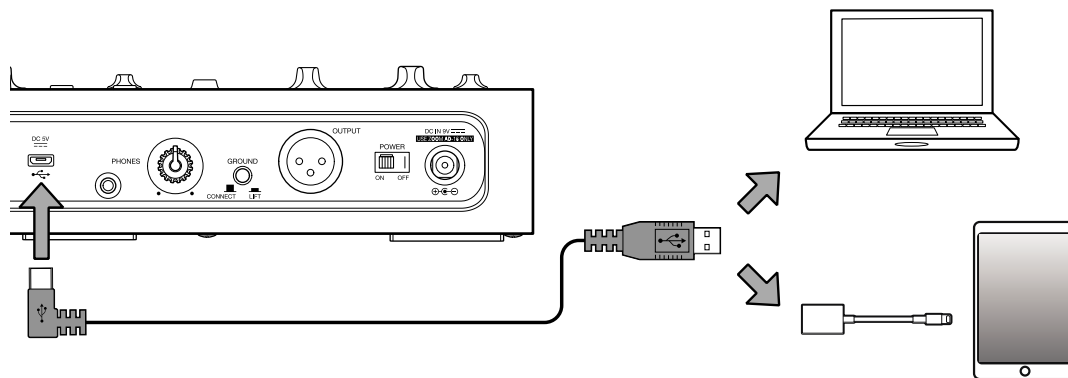
- 詳細なインストール手順については、ドライバパッケージに同封されている「InstallationGuide」を参照してください。
- USB バスパワーの給電能力が低い場合や、アダプターで動作させたい場合には、専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) を使用してください。

■ Mac / iOS デバイス

Mac / iOS で使用する場合、ドライバは必要ありません。

パソコンに接続する

1. V6とパソコンまたは iOS デバイスを USB ケーブルで接続する



NOTE

iOS デバイスと接続するには、Lightning - USB カメラアダプタ / Lightning - USB 3 カメラアダプタを使用してください。

2. を ON にする

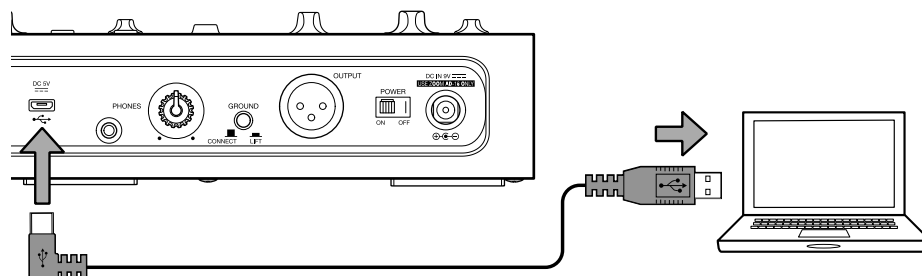
V6 が起動し、iOS デバイスに接続されます。
パソコンの場合は、手順 3 に進んでください。

3. パソコンの場合は、サウンドデバイスに **V6** を設定する

ファームウェアをアップデートする

ZOOMのWEBサイト (www.zoom.co.jp)を確認して、**V6**用のファームウェアをダウンロードしてください。

1. V6とパソコンをUSBケーブルで接続する



2. STORE、ENHANCEの両方を押した状態で、POWERを"ON"にする


V6の電源が入り、が橙色に点灯します。

ディスプレイにが表示されます。



3. パソコンでファームウェアアップデートアプリケーションを起動する

4. アップデートを実行する

アップデート中は、が橙色に点滅します。

アップデートが完了すると、が緑色に点灯します。

NOTE

- ・ファームウェアアップデート中はUSBケーブルを抜かないでください。
- ・万が一ファームウェアアップデートに途中で失敗した場合は、が赤色に点灯し、ディスプレイにが表示されます。手順の最初からファームウェアアップデートを再度実行してください。

5. アップデート完了確認後、POWERを"OFF"にしてUSBケーブルを外す

HINT

ファームウェアのアップデートにより、保存済みのパッチメモリーが消去されることはありません。

故障かな？と思う前に

電源が入らない

- 電源スイッチが“ON”になっていることを確認する。(→ [12 ページ「電源を入れる」](#))
- 電池使用時は、電池の残量を確認する。(→ [12 ページ「電源を入れる」](#))

音が出ない、非常に小さい

- 接続を確認する。(→ [10 ページ「接続する」](#))
- 出力機器の音量を上げる。
- ヘッドフォンを使用している場合は、ヘッドフォンの音量を上げる。(→ [15 ページ「ヘッドフォンの音量を調節する」](#))

ノイズが多い

- シールドケーブルが正常であることを確認する。
- ZOOM 純正の AC アダプターを使用する。(→ [10 ページ「接続する」](#))
- GROUND LIFT スイッチの設定を確認する。(→ [10 ページ「接続する」](#))

音に変に歪む／クセの強い音色になる

- 入力音量を適切な音量に調節する。(→ [14 ページ「マイクからの入力音量を調節する」](#))
- コンプレッサーのかかり具合を調節する。(→ [14 ページ「音量のばらつきを抑える \(コンプレッサー機能\)」](#))

ボイスの効果が得られない

- ボイスアジャストノブを調節する。(→ [17 ページ「ボイスを使用する」](#))

ハーモニーの効果が得られない

- ハーモニーミックスノブでハーモニーの音量を調節する。(→ [19 ページ「ハーモニーを使用する」](#))
- キーセレクトノブでキーを正しく設定する。(→ [19 ページ「ハーモニーを使用する」](#))

エフェクトの効果が得られない

- エフェクトアジャストノブを調節する。(→ [21 ページ「エフェクトを使用する」](#))

電池の消耗が早い

- マンガン電池を使用していないか確認する。連続使用可能時間は、アルカリ電池で約 3 時間半。
- 電池の設定を確認する。
電池の残量表示をより正確に行うには、使用している電池に設定を合わせる必要がある。(→ [30 ページ「電池の種類を設定する」](#))
- 電池の特性上、気温が低い場所で使用すると消耗が早くなる。

仕様

ボイス		12 タイプ
エフェクト		10 タイプ
ハーモニー		5 タイプ
パッチメモリー数		100
サンプリング周波数		44.1 kHz
A/D 変換		24-bit 128 倍オーバーサンプリング
D/A 変換		24-bit 128 倍オーバーサンプリング
信号処理		32-bit
周波数特性		20 Hz ~ 20 kHz (+1 dB/-3 dB) (200 k Ω 負荷時)
ディスプレイ		2 桁 7 セグメント LED
入力	SGV-6	指向性: スーパーカーディオイド (単一指向性マイクユニット x3) 感度: -46 dB/1 Pa 1 kHz (各マイクユニット) 最大入力音圧: 140 dB SPL
	MIC IN	XLR ジャック 入力ゲイン: +3 ~ +40 dB 最大入力レベル: +4 dBu 入力インピーダンス: 3 k Ω 以上 (1 kHz) ファンタム電源: +48 V
出力	OUTPUT	XLR ジャック 最大出力レベル: +8 dBu 出力インピーダンス: 50 Ω (HOT-GND、COLD-GND、1 kHz) 100 Ω (HOT-COLD、1 kHz) GROUND LIFT (スイッチ切り替え)
	PHONES	ステレオミニジャック 最大出力レベル: 20 mW + 20 mW (32 Ω 負荷時)
入力換算雑音 (ファンタム OFF 時)		-125 dBu 以下 (A-weighted, 150 Ω input, 入力ゲイン +40 dBu)
ノイズフロア (残留ノイズ)		-75 dBu
コントロール入力		FP02 入力
電源		AC アダプター DC9 V センターマイナス、500 mA (ズーム AD-16) 単三乾電池 4 本 連続駆動時間 約 3 時間半 (アルカリ電池使用時)
USB		コネクタ: microUSB オーディオインターフェース動作: 2in 2out USB2.0 Full Speed、 44.1 kHz 16/24/32-bit ※ USB 端子からの給電も可能です。 ※ 充電専用ケーブルを使用した場合、給電以外の機能は使えません。
外形寸法		181 mm (D) x 320 mm (W) x 77 mm (H)
重量		1.56 kg (電池を除く)
オプション		エクスペディションペダル FP02

※ 0 dBu = 0.775 V

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
www.zoom.co.jp

Z2I-3646-01